

くすやま美紀(樟山みき)活動報告

2014, 4, 10 NO, 157

連絡先 荻窪5-15-19-704 電話・FAX 5932-6170

区議会控室 3312-2111(内)2319



消費税 4月から8%、来年10月から10%

もうムリ!

くらしを壊す大增税路線ストップを



「給料が上がらず生活が大変」「もう商売を続けられない」―4月1日、国民多数の反対を押し切って消費税増税が強行されました。3%引き上げによって、国民には8兆円を上回る負担増が押しつけられます。平均的なサラリーマン世帯で10万円もの負担増となります。

「社会保障のため」は真っ赤なウソ

政府は「消費税増税による増収分はすべて社会保障のために使われる」とさかんに宣伝しています。しかし、今年度予算で「社会保障の充実」に充てられるのは、わずか1割にすぎないことは政府自身が認めています。そのうえ「充実」といっても、実際は、年金の連続削減や高齢者医療の窓口負担の引き上げなど、給付削減と負担増ばかり。巨額の税金を使っとうその宣伝でごまかすことは許されません。

国民には増税を押しつけながら、大企業への大減税、巨大公共事業や今後5年間に約24兆円

4月からの負担増 こんなに

医療	◆70～74歳の医療費自己負担1割から2割に(4月2日以降70歳になる人) ◆初診料、再診料の値上げ
介護	◆40～64歳の介護保険料引き上げ
年金	◆支給額が0.7%減額 ・国民年金(満額)で月額475円減 ・厚生年金(夫婦2人の標準世帯)で月額1666円減 ◆国民年金保険料引き上げ ・20～59歳が月額210円増になり、月1万5250円に
子育て	◆児童扶養手当が0.3%減額 ◆高校授業料の無償化に所得制限を導入

もの軍事費への投入など、新たな浪費が進められようとしていることも重大問題です。

だまっていたら10%に!

安倍政権は、12月には、来年10月から10%へ増税するかどうか「最終決断」するとし、連続増税への暴走に突き進んでいます。「増税反対」の怒りの声をぶつけましょう。

日本共産党は、①ムダの見直しと大企業・大資産家に応分の負担を求める税制改革で財源確保 ②賃上げや安定した雇用づくりで国民の所得を増やし、増収増を図る―この2つを同時に進めれば、消費税に頼らなくても、社会保障を拡充しながら、経済と財政の危機を打開できると提案しています。

「あんさんぶる荻窪」 存続を求めて 駅頭宣伝



宣伝行動には「存続させる会」の会員7名が参加。かわるがわるマイクで訴えました。

「あんさんぶる荻窪」の利用者や住民で構成する「あんさんぶる荻窪を現在地で存続させる会」は、3月26日、荻窪駅南口で宣伝・署名活動を行いました。私も会員の一人として、「あんさんぶる荻窪は住民参画でつくられた施設。いつでもだれでも使えるフリースペースや学習室、会議室は地域の活動・交流の大事な場になっています。杉並区は、住民の合意のないまま、一方的に税務署との財産交換の協議は進めないで！」と訴えました。買い物で通りかかった人など、20人が署名に協力してくれましたが、この問題を知らない人も多く、さらに広げていくことが必要と感じました。

一部200円。(税込)
ご希望の方には、お届けします。

「慰安婦」問題見解。パンフレットができました

卒・入学式の季節。毎年、桃井第二小学校、神明中学校の卒・入学式に来賓として出席しています。校歌もすっかり歌えるようになりました！
小学校の入学式では、2年生が1年生を歓迎し、楽器の演奏や合唱を披露します。この1年間の子どもたちの成長ぶりには本当に驚かされます。1年前はじつとすわって話を聞くのがやっとだったのに・・・。大きな可能性を秘めた子どもたち。のびのびと学び遊べる環境整備のために、私も力を尽くしていきたいと思います。



ハナカイドウ ピンク色をした中国原産のバラ科の花。
花言葉は「妖艶」「艶麗」。

日本共産党の志位和夫委員長が発表した「慰安婦」問題の「見解」は「歴史の偽造は許されない——『河野談話』と日本軍『慰安婦』問題の真実」が、パンフレットとして発売されました。この間の一部勢力や政党による河野談話見直しを迫る不当な攻撃に反論するとともに、「慰安婦」問題の真実を明らかにしたものです。
杉並区議会でも「慰安婦問題は虚構。たいした問題ではない」「慰安婦＝性奴隷」ホロコーストとのイメージがあるとすれば虚偽の情報をばらまかれた日本の立場は深刻」などの発言が自民党議員などから飛び出しており、歴史の偽造を許さないたたかいが大事になっています。